

カレッジ通信

編集・発行

東京建築カレッジ

授業見学
大歓迎!

TEL 03
(5950)
1771

東京建築カレッジ 第27期生 磯谷 結加さん 空き家の改修・再生できるように!

東京建築カレッジは建築に魅力を感じて専門従事者として働きたい女性のチャレンジを応援します。職種選びやキャリアデザインのアドバイス、女性が働きやすい就職先の紹介もします。活躍中の女性卒業生からも助言をもらえます。お気軽にご相談ください。



建築で活躍したい女性の
入学を歓迎します

学校紹介は
こちらから



大工道具の扱いにも慣れてきました



東京建築カレッジには「建築の世界で自分の夢を実現したい」と願う女性がほぼ毎年入学します。設計職はもちろん、施工管理職や各専門工事職で働くことを希望する人も少なくありません。学科、実技授業の両方で真剣に学ぶ方が多く、設計職の女性が技能照査実技試験(課題「化粧棒隅木」)で最上位の成績になったことも。また、性別に関係なく安心して働ける職場環境の大切さも気づかせてくれる存在です。第27期生(1年生)磯谷結加さんに働き始めて思うこと、目標を聞きました。

◆私が建築を志した理由
建築カレッジとの出会い

私は、出身地の島の空き家を改修、リフォームして貸し出したいと思っていました。新しい建物ではなく、すでに年月を重ねたものに魅力を感じていたからです。

大学卒業後、東京で別の仕事に就いていたので

すが、木造建築の技を身に付けたくて工務店の就職先を探しました。その工務店を通してカレッジの存在を知り入学応募しました。

◆働き始めてみて思うこと

取りたい資格のことや2年後・5年後にどうなっていたいか、目標を立てながら過ごしています。毎日働くことはハードですがワクワクします。

◆若者・女性の入職を促進するには、こんなところは変えてほしい。

拘束時間が長いところ(朝早い、夜遅い)。賃金低め。言葉が汚い。短気な人が多い。休みが少ない会社が多め。



基礎製図の授業



正確な墨付け、加工でないと図面通りの接合ができない継手・仕口の複合構造体「カレッジフレーム」完成!(6月25日)

◆カレッジでの3か月はいかがでしたか。カレッジの面白いところは?

同じ業種で頑張る仲間とのトーク(将来の夢など)。経歴や職種が多様

な先生、仲間との出会い。

◆当面の目標

カレッジ在校中に内装系の資格取得。卒業後に二級建築士資格取得。空き家を改修し生まれ変わらせ貸し出すこと。

森林資源を生かす建築従事者めざそう

6月25日、第26期生(2年生)は、埼玉県飯能市の林業家、井上淳治さんの指導で、杉の下草刈り体験や林業地ウォーキングを行いました。気温37度を超える炎天下でしたが、山林は暑さをやわらげてくれることを体感できました。豊富な国内の森林資源をどう生かすか、木造建築の従事者にとっても重要な課題です。「課題解決に貢献できるプロ

をめざそう」と誓い合いました。(左写真:下草刈り作業前の安全教育)



建築様式の歴史、環境対応も学ぶ



カレッジは座学系も充実しています。大学教授が現場従事者の目線に合わせて専門分野を解説してくれます。

溝口明則講師(アジア建築史、建築技術史)の「建築文化論」は、建築士の受験勉強では暗記物ととらえがちな建築史と建築様式の移り変わりを面白く解説します。6月24日の授業では、三徳山三佛寺(鳥取県)の国宝「投入堂」(平安時代後期の建築)を紹介、研修生の知的好奇心を取り立てました。写真右上。

「建築構造材料」では、「春夏秋冬のある暮らし・エアコンに頼らない住まいづくりセミナー」が人気の建築家、金田

1年生の授業から

第27期生(1年生)は、実技実習では6月末に、手道具使い、墨付け、加工の総復習「カレッジフレーム」を終えました。9月からは平屋の小屋をつくる軸組み実習が始まり、11月からは2階建ての木造軸組み住宅の躯体を手刻みでつくる実習棟実習が本格化します。

カレッジは座学系も充実しています。大学教授が現場従事者の目線に合わせて専門分野を解説してくれます。

正夫さん(一級建築士)が熱く語りかけます。「家電製品がなかった時代に先人たちは高温多湿の気候をやわらげる建築空間を

どのようにつくってきたのか、二酸化炭素の排出を減らすために学ぶべきであり、『高气密・高断熱』一辺倒の『省エネ』で良いのか。建築専門従事者のあり方を問いかける授業です。



金田先生は伝統的な民家の温熱環境の研究者です。自然環境と建築空間の関係について休み時間も質問する研修生が目立ちます。

塗装実習にワクワク



各専門工事職のプロの段取りやテクニックを間近で確認できる貴重な機会(6月24日)

2年生の授業から

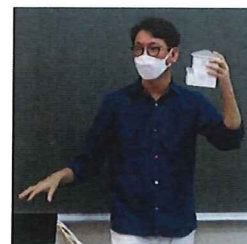
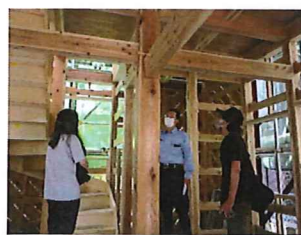
第26期生(2年生)の各専門工事職実務体験授業は終盤に。塗装(6月24日)、タイル(7月2日)、板金(7月9日)の

順で行われます。いずれも本校の母体、東京土建一般労働組合の組合員が講師です。建設・建築労働者の生活と権利を守り、職人の社会的地位の向上をめざし組合活動の先頭に立ちました方々から、建築従事者が団結して行動することの大切さをさりげなく教えてもらええることもメリットです。

第1回オープンキャンパス (6月19日・日曜日) 4人参加

東京建築カレッジは今年度、日曜開催のオープンキャンパス(OC)を3回、開催します。すべて江東実習場で行い、木造軸組みの住宅の躯体を手刻みでつくる「実習棟」を中心に、実技実習系、製図設計系授業を担当の講師・指導員が解説します。OCではカレッジに通わせてくれる就職先の紹介も行います。(次回は8月7日・日曜日)

6月19日(日)の第一回OCは、転職希望者2人、工務店経営者1人、高校生1人が参加しました。



第23回公開講座 テーマ・開催日決まる!

「森林の恵みを暮らしの中へ」仮

10月30日(日)午後YouTubeライブで

◎基調講演 井上 淳治 さん
飯能市の林業家、NPO法人「西川・森の市場」代表

◎カレッジ卒業生も4人出演
設計、大工、施工管理、不動産